**国民体育大会柔道競技大分県選考会**

**新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針**

**～****具体的な感染拡大防止対策～**

１．選考会日程について

　１）日程

令和3年７月１０日（土）

８時３０分　　開場　＊ドーム側入口で検温を受け受付にお進みください。

　　　　　　　受付　＊所属の代表者は係員の指示に従い受付をお願いします。

８時４５分〜　計量　＊男性：会議室１　女性：師範室３にて計量を行います。

　　　９時３０分　　監督・審判会議　＊観客席において行います。

　　　１０時　　　　開会式　＊５分前に事前練習を終え整列をお願いします。

　　　１０時１５分　試合開始　＊敗戦した選手は退場（帰宅）をお願いします。

２）計量（決められた時間内であれば合格するまで何度でも実施可能。）

　　　【男子】実施場所： 「会議室１」指定場所

【女子】実施場所： 「師範室３」

＊マスク着用の上、一定の間隔をおき実施してください。

３）監督・審判会議

　　令和3年７月１０日（土）　9時３０分　　道場３観客席

２．入場制限について

　１）無観客

　　　　観客の入場を認めない。

　２）入場を認める参加者

　　　　①選手　　各所属のエントリーが奇数の場合はプラス１名まで。

　　　　②所属責任者・監督　　各１名

　　　　③大会役員・事務局員

３．健康観察表等の提出及び検温の実施

　１）健康観察表の提出

　　　　各所属の監督は「健康観察表」を監督・審判会議時に提出の事。

　２）検温の実施

　　　　入場を認められた全ての関係者は入場時にて検温を実施する。

　３）参加の取りやめ

　　　 「健康観察表」の提出に不備がある場合、また、記載内容に問題がある場合、

　　　 検温にて異常が認められた場合は、大会実行委員会の判断により大会への参加を認めない。

４．会場使用時の注意点

　１）入場（受付）

　　　　会場入口はドーム側のみ使用可能。入場時に検温を行い、各所属まとまって受付を行うこと。

　２）選手の更衣場所

　　　　男子は「会議室１」の決められたエリアで更衣し、荷物は各所属まとめて置く。計量会場にもな

　　　るため会議室前方に荷物は置かないこと。

　　　　女子は多目的競技場奥の女子更衣室にて更衣し、荷物は各所属まとめて「道場３」に置くこと。

　３）待機場所

　　　　入場後、試合終了後の待機場所は「会議室１」の決められたエリアで待機すること。

　　　　自己の行う３試合前から「道場３」への入場を認める。所属責任者は出場者と連携をとり、試合

　　　の進行状況を把握させておくこと。

　　　　試合のない選手は「道場３」には立ち入れない。

４）動線

　　　当日は、道場３北側出入り口は出入り禁止となる。試合場への入場は道場３南側出入り口（道場

　　３前廊下突き当たり）を使用すること。

５）靴箱の使用禁止

　　　下足は道場３前廊下に設置されたブルーシート上に保管すること。センター内の靴箱は使用禁

　　止とする。

５．マスクの着用について

１）すべての参加者（選手・監督・所属責任者）及び大会関係者に常時マスクの着用を義務付ける。た

　だし、試合を行う選手については、これを除外する。

　２）準備運動時、開会式もマスクを着用して整列すること。

６．手指消毒の徹底について

　１）会場に入場するときには必ず手指消毒を行うこと。トイレからの再入場の際も同じである。

　２）試合前後の消毒

　　　　試合をする選手は試合前後に必ず手指消毒を行うこと。

７．身体的距離の確保等について

　　　身体的距離を確保して感染防止に配慮するとともに、参加者には適時適切な身体的距離を確保し、

　　　行動するように強く依頼する。

８．感染拡大防止のための選手・監督の行動について

　１）試合前

①選手は自身の試合の３試合前に「道場３」に入ること。

　　　　②審判員より目視で柔道衣コントロールを受けること。

　　　　③各自手指消毒を行うこと。

　２）試合中

　　　　①選手には大きな発声をしないように自粛を求める。

　　　　②会場内において、大きな声での会話や応援等をしないこととする。特に試合中の監督による

　　　　　大声での指示や指導は大会申し合わせ事項により禁止とする。

　３）試合後

　　　　①試合終了後は速やかに「道場３」からの退場を求める。ミーテイング等は蜜をさけて会場外で

実施すること。

　　　　②帰宅後はすぐにシャワー等を浴び、柔道衣・衣服の洗濯、用具の消毒等の実施を奨励する。

９．開会式・閉会式について

　　　　①開会式は「道場３」に間隔を取って着座し簡易に行う。

　　　　②閉会式は優勝者のみ表彰し、その他は監督に賞状等を渡すこととする。

１０．柔道衣コントロールについて

　１）柔道衣コントロール

　　　選手を全員集合させて一斉には行わず、各試合前に待機場所にて、審判員が目視で確認を行う。

　　　なお、疑義が生じた場合は各試合場において審判員が測定器具を用いて検査を行う。規格に不適合

と判断された場合は、「失格」となることを理解の上、選手・監督は責任をもって規格に適合してい

るか、事前に確認すること。

　２）赤白帯

　　　組み合わせの赤白を示す赤白の帯について、各自が赤白それぞれの帯を持参することを義務付け

る。なお、感染防止の観点から、大会本部では準備しない。

１１．その他

　１）会場内での水分補給以外の飲食は禁止とする。水分補給は観客席のみ認める。その際は、周囲の人

となるべく距離をとり、対面を避け会話を控えるとともに、飲料については紙コップ等を使用し、

共用はしないこと。

　２）タオルの共用はしないこと。

　３）各自が責任をもって、ゴミの持ち帰りを行うこと。